

2022年 番組審議会議事録

1.開催日時 2022年1月23日13:00～14:30

2.開催場所 ラジオ川越スタジオ

3.番組審議委員

委員総数 5名

出席委員数 5名

A studio 新井大介
高校生 大谷海斗
新富町商店会 理事 早川正信
作家 野村路子
水澤経営労務管理事務所 代表 水澤良昭

4.放送事業者

代表取締役 間中繁孝

取締役 間中伸也

執行役員 間中凜

局長代理 加藤恵子

番組運営委員 武井雅弘

番組運営委員 小林範子

オブザーバー 興隆コンサル 工藤隆興

5. 議事内容

■代表取締役社長 間中繁孝代表挨拶

日経新聞に大きく2面取り上げられた。今の川越は大宮、浦和と比較されることが多い。35万人の人口があるが、FM局を作る人いないので、FM局を立ち上げた。2009年のNHKテレビ小説「つばさ」の中に登場するコミュニティ放送局ラジオぽてとに影響を受け、川越及び周辺の町をカバーするラジオ局をやることを使命と感じて立ち上げに奔走し、ようやく開局にこぎつけた。

■各委員より自己紹介

■ラジオ川越について紹介

■番組についての自由意見

・新河岸で町おこし、もうやんさんと協力、ゲスト出演して地元の宣伝としてありがたかった。はなまるさんカメラを通じて初めてラジオ川越を知り、ASUKAさんと、発光さん、のらくらさんとも密に連携を取っている。

・10月から番組が変わったと感じ。ラジオマン、NHKとTBSと交互に聞いている。TBSと比べるとそんなに遜色を感じなかった。ラジオ川越のタイムリーの放送、カバー地域川越、鶴ヶ島、坂戸あたり、電波が不安定を感じた。

・川越ますみさん、ゆき乃さん、小林さんの番組にゲスト出演、全国で聞けるとは思わなかったが、全国からの反響にびっくりした。Nack5が出来てから、NHK浦和より人気が出た、その理由は浦和レッズの放送、Nack5のシールがステータス、川越のスポーツチームや、箱根駅伝とのかかわりで人気が出るかもしれない。

・まだ認知度がちょっと低いような気がする。川越以外自分の学校でも広めている。勉強系(英語など)の番組がほしい、ラジオを聞く習慣、車でNack5を聞いてた、担任の先生が興味を示してく

れた。

・Nack5の音楽を聞いていた。川越市政100周年の番組に興味があった。中学生の番組があったらよいのでは。

・100周年の話について、市長に1時間時間のインタビューをした、市役所広報と連携として情報を流す、市民、観光協会、学生、まちづくりと提携して番組で放送。

・水上公園の新しい公園を報道してほしい

間中社長:丸広が建て替えの時に一番街ではなく、一番街が一気に衰退した。マンションが次から次へと立てる、2年後アンテナを移転しないとイケない。川越はポテンシャルのある町なので、ラジヲ川越がそれを宣伝していこうとしたい。

■次回の番組審議委員の日程

4月17日13:00-14:00

6 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法④自社ホームページ(URL)への掲載

公表の内容 議事録公開

公表年月日 2022年4月7日